

請 願 文 書 表	
受理年月日 及び番号	令和5年6月6日 第8号
件 名	小・中学校全学年において早急に少人数学級の実現 を都に求める請願
請 願 者	文京区本駒込五丁目 15 番 12 号 新日本婦人の会文京支部 支部長 小 竹 紘 子
紹 介 議 員	関 川 け さ 子
請 願 の 要 旨	次 頁 の と お り
付 託 委 員 会	文 教 委 員 会

## 請願理由

昨年 10 月 27 日 文部科学省は全国の小中学校で 2021 年度不登校だった児童生徒が前年度から 4 万 8813 人 (24.9%) 増え、24 万 4940 人で過去最多になったと発表しました。増加は 9 年連続で、過去最多も 5 年連続で更新しています。

不登校の内訳は小学校が 8 万 1498 人 (前年度比 28.6%増)、中学校 16 万 3442 人 (前年度比 23.1%増) で、いずれも増加しています。文京区においても、2021 年度小学校 139 人、中学校 135 人と年々増加の傾向をたどっています。

専門家からは競争的な教育が背景にあり、学校が安心できる場になっていないと指摘されています。学校は本来子どもが安心して学べる居場所であるべきです。

授業時間の詰め込みの問題もあります。一日の授業時数が多いうえ、さらに足りない分は夏休みなどを削って補っているのが現実といわれています。子どもに寄りそってその声を受け取るべき教員の多忙化は大変な社会問題にもなっており、精神疾患による教員の休職者が 2021 年度文部科学省調査で過去最多になっています。

又教員が不足して学級担任のいない学校などが出て、副校長が担任になり、しのいだことがマスコミで報道されました。文京区内でも一歩間違えばそうなりかねない状況があるとも聞いています。

学校を子どもが安心できる場所にするために、何よりも教員を増やし、一人一人の子どもたちの声を聞き、心が通い合う環境を作ることが必要です。そのためにも少人数学級を進めることは必須です。来年度の国の文教予算で教職員定数は増減差引で 2474 人も大幅減になっています。

またこの冬はコロナ感染第 8 波の下「緊急搬送困難事案」も過去最悪です。感染予防や拡大防止の点からも、「密」を解消することが必要になっています。

少人数学級はコロナ禍での「密」を解消し、子どもたちがゆったりと学び、一人一人の個性を生かし学ぶ権利を保障する上でも重要です。

全国の自治体では、国の 35 人学級への変更を受けて、自治体独自に前倒しで促進したり、更なる少人数への取り組みを進めるなど少人数学級を前に進めています。これは全国的な流れになっています。

東京都においても独自に教員を増やして、35 人学級を小学校で前倒し、中学校に拡大していただきたく強く要請します。

## 請願事項

- 1 都の責任で、教員を増やし小・中学校の全学年で 35 人学級を早期に実施するよう都に求めること。
- 2 あわせて小・中・高の全学年で 30 人学級の検討に入ることを都に求めること。